

1月 給食だよ！

あけましておめでとうございます。早いもので1年のまとめの3学期が始まりました。寒い日が続きますが、換気や手洗いをしっかり行い、元気に登校し、楽しい給食時間を過ごしましょう♪

1/24~1/30 全国学校給食週間 給食の歴史&献立の変遷

学校給食の起源は、明治22（1889）年にさかのぼります。山形県のお寺にあった小学校で、お弁当を持ってこられない子どもたちに、昼食を無償で提供したことが始まりとされています。その後、全国へと広がりましたが、戦争による食料不足などの影響で中断されてしまいました。

戦争がおわっても食料不足は続き、子どもたちの栄養状態が心配されたことからアメリカのララから贈られた物資を使い、給食が再開しました。



昭和21（1946）年12月24日に物資の贈呈式が行われ、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、冬休みと重なるため、昭和25（1950）年度からは1月24日～30日を「全国学校給食週間」とすることが定められました。

昭和22年ごろの給食

脱脂粉乳や缶詰などの物資を使って給食が作られました。

トマトシチュー・ミルク

昭和25年ごろの給食

アメリカから寄贈された小麦粉を使って、パン・ミルク・おかずの完全給食が始まりました。

コッペパン・ミルク・カレーシチュー

昭和40年代ごろの給食

パンの種類が増え、めん類も提供されるようになりました。脱脂粉乳のミルクは牛乳へと切り替わりました。

ミートスパゲッティ・牛乳・フレンチサラダ・プリン

昭和50年代ごろの給食

給食の主食はパンが中心でしたが、昭和51年に米飯が正式に導入され、献立の内容も豊かになっていきました。

カレーライス・牛乳・塩もみ・バナナ

南城市学校給食センターでは

時代の流れと共に変化を続ける「学校給食」ですが、いつの時代も子どもたちを大切に思う気持ちがつまっています。そんな思いを感じてくれるとうれしいです♡

1月22日（月）から26日（金）までの一週間を学校給食週間とし、郷土料理や県産や南城市産の食品を使った献立を実施します。



中学3年生の 学校給食の感想や思い出



もうすぐ学校給食から卒業する中学3年生に学校給食の感想や給食時間の思い出を教えてくださいました。3年生のみなさんありがとうございます。いくつか紹介します♪

いつも楽しく友達と一緒においしい給食が食べられてうれしい。いつも栄養バランスのよい給食をつくってくれてありがとうございます！

幼稚園から約10年間ありがとうございます。ございました♡

いつも激闘 生か死か”牛乳じゃんけん”いつも美味しい給食ありがとうございます。

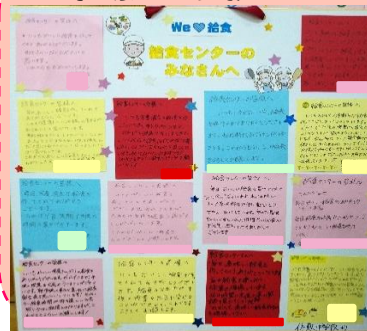
全部食べることができなくて頻りに残してしまうのですごく申し訳ないです。私たちの栄養バランスとかを考えてくださって作ってくださっているのにすみません。スープの人参が星形になっていたり、ミルメークが出てきたりと、私たちが喜びそうな工夫をしてくださっていてとてもうれしかったです。高校生になったら弁当になるので給食が恋しくなりそうです・・・笑
9年間お世話になりました、ありがとうございました！
これからも体調に気をつけて頑張ってください。

これからも美味しい給食を作って学校のみんなを笑顔にしてください。

小学校から中学校まで、4年生のときは職場体験でお世話になりました。いつもおいしい給食をありがとうございます。南城市で教員を目指したいくらいおいしい給食です。給食センターで働いているお父さん、生活を支えてくれて感謝！これからも頑張るね～家で作ってくれる料理毎日楽しみにしているよ！

先生たちが南城市の給食は温かいし、おいしいとおっしゃっていてこれが当たり前じゃないと知りました。いつも給食がおいしくて1日の頑張りでした。

佐敷中学校よりいただきました



佐敷中学校さんから勤労感謝の日メッセージボードをいただきました！ありがとうございます♡

野菜生産部会・JAおきなわ南城市支店より びっく！ジャンボの提供があります♪



南城市産のいんげん114kgの無償提供があります！17日の「いんげんの卵とじ」に使います！